

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

| | | | | |
|--|--|---|--------------------|-------------|
| 1 事業概要 | | 提出日 | R7.6.18 | |
| 担当 | 課名 | 総務課 | | |
| 記入者名 | 総務グループ | | | |
| (1)事業名 | 男女共同参画推進事業費 | | (2)事業種別 (新規・継続) | 継続 |
| (4)第5次総合振興計画での位置づけ | | (5)予算・財源等の別 | | |
| ①基本目標 | 人が輝くまちく参加と協働の推進 | | ①会計区分 | 一般会計 |
| ②大項目 | 男女共同参画 | | ②財源区分 | 町単独 |
| ③中項目 | 男女が共に参画できる社会づくり／男女平等の意識づくり／女性に対するあらゆる暴力の根絶 | | ③予算科目 | 款 3 項 2 目 1 |
| ④施策 | 男女が共に参画できる社会づくり／男女平等の意識づくり／女性に対するあらゆる暴力の根絶 | | ④予算事業名 | 男女共同参画推進事業費 |
| ⑤施策コード | 1-4-1-0.1-4-2-0.1-4-5-1 | 掲載ページ | 27,28 | ページ |
| (6)実施根拠 | | (7)総合戦略 | | |
| ①事務分類(自治・法定受託) | 自治事務 | | ①総合戦略 | 無 |
| ②根拠法令・条例等 | 男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法、DV防止法 | | (該当事業名) | |
| ③事業期間 | 開始 不明 年 月から | 終了 未定 年 月まで | | |
| 2 事業の目的・内容等 | | | | |
| (1)目的(何のために行うか) | | (2)内容(どのような取り組みか) | | |
| 男女平等意識の定着化と男女共同参画社会の形成促進を図るため。 | | 「おがわ男女共同参画推進プラン」の進捗管理 町民向け男女共同参画講演会の開催(町広報紙、HPで周知)、パネル展の開催 男女共同参画広報誌『かがやき』作成(年1回、全戸配布) 男女共同参画推進協議会の開催 職員研修の開催 | | |
| (3)対象(誰に対して、何に対して行うか) | | (4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか) | | |
| 全町民 | | 審議会等の女性委員比率33.3% さまざまな場面における固定的な性別役割分業意識の解消 男女共同参画へ向けた推進体制強化 男女共同参画推進条例の制定 男女共同参画宣言の町 | | |
| 対象数 | 27,290 | 単位 | 人 | |
| (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等) | | | | |
| 令和6年4月1日に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、「女性の福祉」、「人権の尊重や擁護」、「男女平等」といった視点に立ち、困難な問題を抱える女性一人一人のニーズに応じて、本人の立場に寄り添って、切れ目のない包括的な支援が必要になっている。また、性別にかかわらずお互いの人権を尊重すること、男性の家事・育児・介護等への参加、女性の政策や意思決定過程への参画が社会的に求められている。 | | | | |
| (6)SDGsへの貢献 | | | | |
| | | | | |
| 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円) | | | | |
| (1)事業(内容) 項目 | | 男女共同参画推進事業費 | | |
| 決算・予算年度 | | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度決算 |
| 実施年度(R6年度)決算 | | 今年度(R7年度)当初予算 | | |
| 2 事業費内訳 | 報酬 | 0 | 0 | 0 |
| | 報償費 | 105 | 76 | 88 |
| | 需用費 | 448 | 8 | 22 |
| | 役務費 | 67 | 68 | 58 |
| | 委託料 | 67 | 190 | 187 |
| | その他 | 2,113 | 1 | 0 |
| | 直接事業費合計 | 2,800 | 343 | 355 |
| | | | 396 | 396 |
| | | | | 607 |
| (3)財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 |
| | その他特定財源 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 2,800 | 343 | 355 |
| | 合計 | 2,800 | 343 | 355 |
| | | | 396 | 396 |
| | | | | 607 |
| (4)補助金名 | | | | |
| (5)人件費 | | | | |
| 投入職員数 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| 年間人件費 | 3,051 | 3,017 | 3,008 | 3,109 |
| (6)総事業費 | 5,851 | 3,360 | 3,363 | 3,505 |
| サービス量(人) | 28,494 | 28,046 | 27,774 | 27,290 |
| サービス単価 | 205.3 | 119.8 | 121.1 | 128.4 |
| (単位) | 円/町民1人あたり | | | |

| 4 指標の検証 | | 男女共同参画推進事業費 | | | |
|--------------------------------|---|-------------|--------|--------------|---------------|
| 指標名 | | 単位 | R5年度決算 | 実施年度(R6年度)決算 | 今年度(R7年度)予算積算 |
| (1)活動指標(実施した事業の量) | | | | | |
| 指標名 | 男女共同参画広報誌の作成・配布 | | 目標値 | 部 | 11,400 |
| | | | 実績値 | 部 | 11,300 |
| | | | 達成率 | % | 99.1 |
| | | | 目標値 | | |
| | | | 実績値 | | |
| | | | 達成率 | | |
| (2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度) | | | | | |
| 指標名 | 審議会委員における女性比率 (総振目標指標p28) R7年度目標値 33.3% | | 目標値 | % | 33.3 |
| | | | 実績値 | % | 24.7 |
| | | | 達成率 | % | 74.2 |
| | | | 目標値 | | |
| | | | 実績値 | | |
| | | | 達成率 | | |
| (3)その他指標に現れない成果 | | | | | |

「おがわ男女共同参画推進プラン(第4次)」に基づき男女共同参画の推進を図っていく。

| 5 事業評価 | | | | | |
|---------------------------------------|------------------|----|---|------|---|
| (1)項目別評価 | | | | | |
| 評価項目 | | 評価 | | 評価理由 | 評価した理由を選択してください。 |
| 必要性 | 事業の必要性 | 1 | 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い | 1 | 1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他() |
| 妥当性 | 実施主体の妥当性 | 1 | 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い | 1 | 1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他() |
| | 手段の妥当性 | 1 | 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い | 1 | 1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他() |
| 効率性 | コスト効率性 人員の効率性 | 1 | 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い | 2 | 1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他() |
| 公平性 | 受益者の偏り | 1 | 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある | 1 | 1 公平に分配されている 2 おむね公平に分配されている 3 その他() |
| 有効性 | 成果の向上 | 2 | 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている | 3 | 1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(おがわ男女共同参画推進プラン(第4次)に基づき、子育て支援課で新事業開始) |
| 進捗度 | 事業の進捗 | 2 | 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない | 1 | 1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他() |
| (2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。) | | | | | |

- ・おがわ男女共同参画推進プラン(第4次)
- 令和3年度に策定した本プラン中、男女共同参画に関する様々な施策について数値目標を設定しており、令和8年度までに数値目標を達成できるよう各課において事業を推進する必要がある。
- ・町の審議会等における女性委員の比率
- 法律等により設置が義務付けられている町の審議会等において、目標である「女性委員比率33.3%」の実現に向けて実行的な取り組みを進めていく必要がある。女性委員の多い団体を選出母体とすることや団体の長の役職に限定することなく、女性の登用に努めることについて引き続き啓発を進めるとともに、各所管課へのヒアリングの実施等、検討する必要がある。

| 6 事業の方向性の判断 | | 1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合 |
|---------------------|--------|--|
| 評価主体 | 評価 | 評価についての説明 |
| (1)一次評価 (担当課長) | 2 現状維持 | 策定したおがわ男女共同参画推進プラン(第4次)に基づき事業に取り組むとともに、そこでの新たな課題を整理していく。 |
| (2)二次評価 (政策推進課長) | | |
| (3)最終評価 (町長) | | |